

2026年4月15日

課題名：気管支鏡前処置の咽頭麻酔におけるPARI LC プラスネブライザー®による
吸入麻酔導入の有用性の検討

◆研究の目的と概要◆

当院では、気管支鏡前処置の咽頭麻酔について従来のジャクソン型喉頭麻酔スプレーと比較してPARI LC プラスネブライザー®による吸入麻酔の有用性を調べています。本研究では、適切な気管支鏡前処置を目指し、今後のより患者の負担の少ない気管支鏡検査を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2025年8月から、2026年2月までの間に、予定の気管支鏡検査を実施された検査時年齢が18歳以上の方。

◆研究に使用される情報・試料◆

性別、年齢、身長、体重、Performance Status、既往歴・併存疾患、酸素投与の有無、検査前SpO₂、検査内容、検査時間、検査施行医師の呼吸器内科の経験年数、吸入麻酔（ジャクソン型喉頭麻酔スプレー）施行医師の呼吸器内科の経験年数、気管支鏡検査施行時の疑い病名、気管支ファイバースコープ種類、検査中に投与した鎮静薬・鎮痛薬の種類・投与量、医師・看護師への「気管支鏡前処置（咽頭麻酔）に関する医療者アンケート」の結果集計

◆試料・情報の研究利用開始日◆

2026年6月1日以降

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
呼吸器内科 研究責任者 豊田 裕士

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）
（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難であるとの理由が認められ、倫理的観点及び科学的観点から実施についての承認、また当院院長の許可が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明